

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
放課後等デイサービスANERA		令和7年 3月 27日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		スペースを確保し子ども達が安全で快適に過ごせるように取り組んでいる。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		来書される児童によって配置数を増やすこともある。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		環境整備など常に調整している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		児童の帰宅後は、部屋の清掃やおもちゃ等のアルコール消毒をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		児童が利用できる個室を準備しており必要に応じて使用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			限られた時間の中でのミーティングになるが今後は半年に1度程度の頻度で全体で目標設定と振り返りを行ってきたい。
	7 保護者向け評価表より、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けアンケートを取り、改善点など話し合いを行っている。ホームページに保護者向け自己評価の公表を行っている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々のミーティングの際に共有、意見交換を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討したい。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修を行っている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		活動時のこどもの様子の観察と保護者への聞き取りからニーズや課題を整理し分析している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者と、実際に支援や指導をした職員の共通理解のもと、子どもの発達段階に合わせた検討が行われている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間のミーティングで共有している。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたツールの使用等、より良いアセスメントの方法を検討する
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ニーズを保護者と確認しながら各必須項目を含んだ計画を作成している	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当職員がベースを作り、他の職員と相談してブラッシュアップしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		様々な運動、経験を通し楽しみながら次の学びへ繋がるよう日々工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の状況や課題に対して個別活動と集団活動を組み合わせ計画作成し、支援している	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		打ち合わせでタイムスケジュールや役割、個別の計画やアレルギー等の留意事項等について確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			時間の許す限りで行っているが、送迎が多く帰宅時間も揃わない為、終了後の全体での振り返りが不十分な時がある。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、客観的な記録をとるよう努めている。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度の頻度で行っている。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		意識して支援するように努めている。		
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		児童の意思を尊重し、自主性を育てられるような支援に取り組んでいる。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		最も児童の状態を把握できている職員が会議に参加するように調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて情報共有をよう努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			今のところそういった児童はいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			個別の案件で相談支援事業所を通して情報共有する事はあったが、それ以外で連携を必要とする機会はなかった。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			機会は設けているが頻度が少ないため頻度を増やせるよう努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		可能な限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後の引継ぎ時に話す他、必要に応じて電話やSNSを使って伝え合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			将来的に家族支援プログラムを実施できるよう研修などで職員のスキルアップと知識の向上を図っていく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		事業所としての方針をお伝えし、保護者の意向を確認しながら作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		丁寧な説明を心掛け同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談があれば送迎の際や電話・SNS等を使用してやり取りをしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			現在は行っていないが、希望が多い場合には検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		何かあった際はすぐに保護者等と相談し対応するようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを活用して情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		守秘義務の遵守を職員との契約内容に含めている。こどもの写真の使用に際して、可能な方には保護者に使用同意書を頂いている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて絵カードやスケジュールボードを活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			現在は行えておらず今後検討したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			様々な訓練を実施できるように努めていく。防犯マニュアルは実用可能なマニュアルを作成していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に避難訓練を実施し、実際に災害が発生した際も迅速に対応できるよう緊張感をもって取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者記載のシートにより把握している。また、必要に応じて聞き取りを行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者記載のシートにより把握している。また、必要に応じて聞き取りを行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		日々の支援の中で安全管理、危機管理には職員間で連携を取り必要な措置を講じている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			家族への周知が不十分かもしれない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所全体でヒヤリハットを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年に1回以上、虐待防止について内部研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		可能性がある場合には保護者に説明し同意を得たうえで支援計画書に記載する。		